

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	共同生活をするゆえ、ご本人とコミュニケーションをより深めたい。	個々の出来る事の確認をして気持ちが安心できる声掛けと関わりを持つ。	・一人ひとりとゆっくりと関わりを持ち、出来る事の確認をする。・声掛け、見守り、一緒に行い不安がないように支援する。・感謝の言葉‘ありがとう’‘うれしい’を積み重ねる。	12ヶ月
2	3	地域とのコミュニケーション・交流する機会が少ない。	地域に出向き、地域の方々との意見交換の機会を持ち、交流を深め、認知症介護の拠点としての役割を果たす。	・地域の集まりに参加し、認知症の理解を深めるとともに、地域交流の大切さを要請する。・地域の方々をいろいろな行事に招くほか、食事会や茶会などにも招き交流を深める。・地域商店街に買物に出掛け、地域と慣れ親しむようにする。	12ヶ月
3	35	日中に行う夜間想定避難訓練は実施しているが実際に暗いなかでの訓練も取り入れていく。	実際の暗さのなかで実施することにより、違いを体感する。	・車椅子を用いて職員二人一組で行い、暗いなかでの避難誘導される役、誘導する役の両方を体験する。	12ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。